

全労金2019春季生活闘争ニュース・第3号

全国統一の「要求提出日」と「全国一斉職場集会の日」です！
全労金組織 9,000名の団結で、要求貫徹に向けた闘いを確認しよう！

◎全労金は、第115回中央労使協議会を開催し、全労金方針の主旨説明を行いました！

全労金は、本日、午前9時30分から、労金協会と第115回中央労使協議会を開催しました。全労金・末留中央闘争委員長と労金協会・中江理事長が挨拶した後、深見書記長から全労金2019春季生活闘争方針の主旨を説明するとともに、全国の労金労使が建設的な交渉・協議が進められるよう、業界団体としての役割発揮を求めました。

◆末留中央闘争委員長挨拶要旨

本日3月5日は、全単組統一の要求書提出日として、事業体に要求書を提出する。また、中間組織・職場組織においても、本日から明日にかけて、所属長等に対して要求書と主旨説明を提出し、すべての職場で、全組合員の総意により確立した要求であることと、闘争体制である旨を伝える。

結成30年を迎える連合の方針では、冒頭、「総合生活改善闘争」と位置づけ、国民生活の維持・向上を図るため、労働組合が社会・経済の構造的な問題解決を図る「けん引役」を果たす闘争としている。また、「経済の自律的成長」「社会の持続性」の実現に向けて、すべての働く者の「底上げ・底支え」「格差是正」による継続した所得向上と、将来不安の払拭による消費の拡大を実現することが不可欠、としている。

全労金2019春季生活闘争方針は、労金業態で働くすべての労働者を対象範囲として、10年振りに基本賃金の改善を掲げている。要求の目的は、①連合方針に基づく労働組合としての社会的役割発揮、②人財の確保・定着化による職員のモチベーション向上と連動した持続的な生産性向上といった好循環の形成、③第4次産業革命等の進展への対応力向上を見込んだ職員への投資、④労働の価値に見合った賃金の実現、等の観点としている。

本日以降、単金・単組で本格的な労使交渉が始まる。100周年を迎えるILOは、「周年記念イニシアチブ」に「仕事の未来」を立ち上げ、「協同組合の未来に向けて」という論点を示している。世界にある協同組合が「経済・技術・人口動態・環境」の変化に、どのように対応してきたかが示されており、今後、規制枠組みの開発、規模の拡大、証拠に基づいたデータと知識の創出において、構成組織やメンバーとどれだけ協力して進めていくのかに「協同組合の未来」はかかっていると投げかけがされている。したがって、労働組合との交渉は、要求の主旨を理解しようとする真摯な対応に努めること、経営責任として労働組合への説明責任をしっかりと果たすよう

指導するなど、中央機関としての役割を十分に発揮していただくことを求める。3月27日の回答期限日までに解決できるように、労金協会が一層の尽力を果たすことと、労金業態を健全な方向に導く役割を強く発揮することを期待する。

◆中江理事長挨拶要旨

厳しい金融競争の中、全国の職場で奮闘されている組合員の皆さんに、協会・連合会を代表して心から感謝申し上げます。本日は、春季生活闘争の要求提出日となるが、労使の真摯な論議で、交渉を早期に解決させることが重要であり、そのことをお互いの立場で、金庫・単組に要請していくことを確認したい。

協会は、2月の理事会で「ろうきんSDGs行動指針」を確認し、3月1日に公表した。SDGsのスローガンである「誰一人取り残さない」や、すべての人々が必要な金融サービスにアクセス・利用できる「金融包摂」の考え方は、労金の設立経過や理念、ビジョンと合致する。労金運動を通じた勤労者の生活向上という「ろうきん」の使命は、これからのSDGs時代でも、その存在価値が高まっている。業態が一体となって役割発揮していかなければならない。労使共通認識に立って、多様な働き方を認めることや組織風土改革を進めることも、SDGsの達成に繋がっており、しっかりと向き合う必要があると思っている。

最後に、高橋専務から「2月の理事会でも、全労金2019春季生活闘争方針の考え方が見直され、領域も拡大されていることから、事前協議を含め、しっかり対応する必要があるとの話をしている。3月27日には解決を図られるよう、協会としても、進捗状況を把握し、単組とは真摯な協議を十分行うよう伝えていきたい」「4月1日からは働き方改革関連法が施行される。法改正の主旨を踏まえ、労金に相応しい制度といった観点で議論したい」等の所感が表明されました。

その後、「改定・統一退職金制度」について、協会は全金庫から、全労金は全単組から、交渉権の委任を受けたため、団体交渉を開催し、統一退職金制度に関する協定（中央協定）、並びに、覚書・議事経過確認書、を締結しました。



※ 次号は3月6日(水)に配信予定です。

※全労金HP (<http://www.zenrokin.or.jp/>) もご覧ください!

以上